

皆さん、こんばんは。本日はGITEXご出展でお忙しい中、当公邸にお越しいただき、誠にありがとうございました。そして、ドバイへの御出張、大変お疲れ様でございます。

今晚、16の会社とジェトロさんをお迎えすることに、非常にワクワクしておりました。9社の方々とは既に御社のブースにてご挨拶させていただきましたが、このジェトロさん作成の出展社リストに記されております御社の製品技術の説明欄を拝見してみますと、目にしたことがないSF感覚の文字が散らばっています。このリストの上の方から順に、...の通り、製品を見るまで想像がつかないアイデアに満ちた技術力を感じさせます。

さて、ここドバイは、都市国家として、半世紀に満たない極めて短期間に猛スピードで世界有数の経済都市の地位を築き上げて来ました。そして、そのような背景もあって、ここドバイは、常に全てのことに関して世界一、世界初、世界最高とすることに大きな意義を見出しています。世界最大規模の空港、それから港を作り上げ、世界で最も高いビルディングを建設し、世界最高級のホテルを整備し、ヒト・モノ・カネ・サービスを呼び込んできた、いわゆる世界一を作れば全てが集まり、経済・社会が発展したというドバイのビジネス・モデルの成功経験があるからです。

このような世界有数のハードを整備することにより、経済を大きく進展させたビジネスモデルも、社会の発展に伴い当然発生するコスト高に、その発展のスピードが色褪せて来ています。

そういった次の発展戦略を試行錯誤している中で、いわゆる世界最先端の技術に裏打ちされた社会システムの構築を様々な形で模索しています。なんでもかんでも「スマートなんとか」という名称を付し、例えばsmart auto police stationというもののまであります。空飛ぶタクシー、自動運転、無人車両などは実証実験を開始して久しいです。また、建国50周年に当たる再来年には宇宙衛星を火星に到達させる計画を進めており、宇宙ビジネスもビジネス・モデルの一つになっています。なお、この火星探査衛星を宇宙に打ち上げるの日本のH-IIAロケットです。

ドバイは今、アイデアに富んだ高い技術力に基づく社会変革を成し遂げられるようなシステム構築に、次の発展戦略の道筋を見出そうとしています。そういった中で、皆様のアイデアと、それを実現しうる技術力は、羨望の的となっているのではないのでしょうか。

他方でドバイの社会文化もしっかり踏まえておかなければなりません。世界一のビルや人工島や世界最高のホテルが例にあるように、見た目、プレゼンというか押し出しが極めて重要です。私の娘がこのドバイにある小学校および中学校で勉強しておりますが、その授業の中で「デザイン」や「ドラマ」という日本にはない科目があります。いわゆる、いかに映像や、口頭説明で自分をより良く表現するかを小さいうちから勉強しているのです。ここドバイでは、品質が良ければ売れるということとはほとんどありません。いかに魅せるか、魅力の魅せるかが大変重要です。そういうことで、皆様には大変期待しています。

それでは、皆様のビジネスの大成功を祈念して乾杯したいと思います。「乾杯！」